



a f t ó

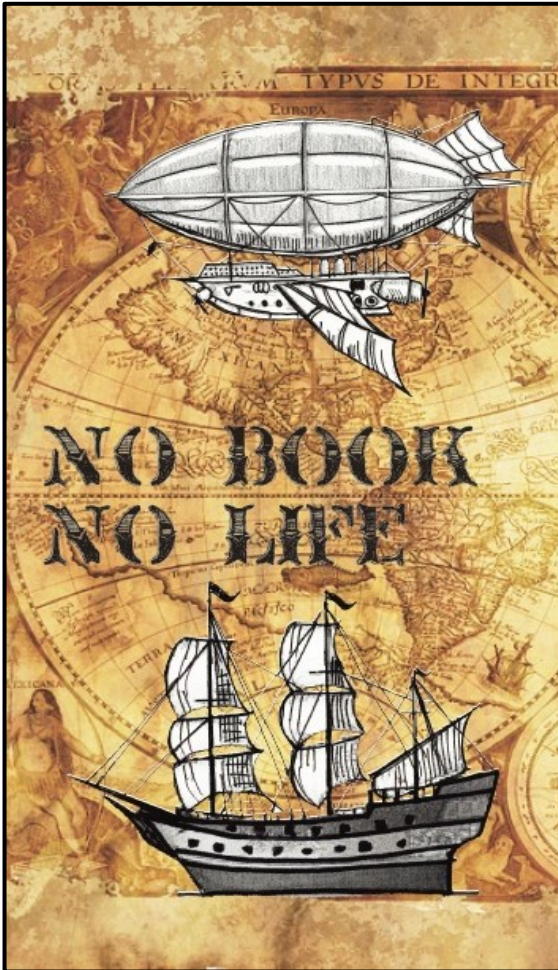
2020年1月 発行

尼崎市立尼崎双星高等学校

図書委員会



〔ギリシャ語で 読みはアフト 意味は本〕



読書は冒険！

月1冊 新しい本に出会って “自分に一冊” をみつけよう！

★Library SOSEI★

～読書と脳～

校長 谷 清 隆

日本人の読書離れが一層加速している要因としてまず考えられるのが、インターネットの普及に伴う過度の情報の氾濫です。パソコンを操作すれば瞬時に必要な情報が入手できるネット環境が、人々から読書の習慣を奪ってしまったことは想像に難くありません。

文字を見ると、その視覚情報は脳の視覚野に入り、次に音声の情報に変換された後、膨大な記憶の中から単語や「てにをは」などの文法要素が検索されます。その情報が言語野（音韻・単語・文法・読解の四つの領域）に送り込まれることで文章として理解される。これが基本的な言語のメカニズムです。

言語といっても文字で読む場合、音声で聴く場合、映像で見る場合など様々ですが、脳に入力される場合のそれぞれの情報量を比較すると、多いほうから映像・音声・文字の順になります。朗読などの音声には、文字では出せないニュアンスやイントネーションが含まれ、映像は音声に加えてさらに多くの視覚情報が加わるため、音声は文字より、映像は音声よりそれぞれ情報量が豊富だということになるのです。

インターネットや動画のように多くの情報を瞬時に得ることはとても便利

ですが、その情報を脳が処理できず、脳自体が疲弊してしまいます。読書で得られる情報は人間の脳にとって、適度な情報であると言えます。

文字のように情報量が少なければ、当然足りない部分を想像力で補う必要が生じてきます。ここでいう想像力とは、「自分の言葉で考える」ことです。脳の中でこの想像力を司るのは言語野であり、分からない所が多いほど、脳は音韻・単語・文法・読解の4つの領域を総動員して考え始めます。

入力情報が少ないほど脳は想像力を働かせるわけですが、出力の場合は、相手に何かを伝えたいと思った時、少ない情報で用件を済ませてしまう電子メールに比べて、人に直接会って会話をすることは、様々な言葉を駆使し自分の意思が相手に伝わっているか、想像力を働かせながら確認しなくてはなりません。つまり、メールよりも会話のほうが脳の働きを促すことになります。要は十分な読書と会話を楽しむことが、脳を創るために必要なのです。

説明する力や、コミュニケーション能力を身につけるために、皆さん、是非とも図書館に立ち寄って、脳を活性化してください。

先生からのおすすめの本

幕末の悲劇の会津藩主 松平容保 網淵謙錠/ほか著 KADOKAWA



これが男の生き方。そんな一言が思わすこぼれそうになる人生を送った人物が、松平容保（かたもり）です。会津藩祖保科正之の遺した精神的規範である「家訓」十五箇条を全うし、幕末の戊辰戦争を最後まで徳川幕府のために闘い抜きました。忠義を忘れず、己の信念に従って真っ直ぐ進む姿勢には、多くの部下が命を投げ出してついて来ました。

周りを引き込む器を持ったそんな「男」の生き方を一度感じてみるはいかがでしょうか。

雑喉 健太 地歴公民科

空想非科学大全

柳田理科雄/著 KADOKAWA



この本は、私がゲームに没頭していた中学3年生のころ出会いました。まだ文系の頭をしていた時代です。「どれくらい速く動いたら影分身できるの?」「ウルトラマンに変身するために必要なエネルギーってどれくらい?」深く考えたことのない疑問が数多く提示され、筆者なりの考察が記載されています。この本との出会いが、私を理系の沼へと導きました。新シリーズも出ているのでこちらも是非! 「夢がない」とか言わないでね。

内田 樹 数学科

夢をかなえるゾウ

水野敬也/著 飛鳥新社



少し古い本にはなりませんが、ぜひ一度読んでもらいたいです。

今の自分をもっと成長させないとか、何か変えたい、変わりたいとか思っている人。ほんの少しの考え方、行動を変えるだけで道は拓かれます。いわゆる自己啓発本ですが、関西弁をしゃべるゾウの姿の神様ガネーシャと主人公のやりとりが面白く、あつという間に読んで、しかも心に残る一冊です。2・3も出ていますので、ハマったら一気に読むかも。

熊谷 好紘 商業科

何者

朝井リョウ/著 新潮社



就職活動の情報交換をきっかけに集まった大学生達の話。エントリーシートを埋めるために留学やボランティアをしたり、検定を取得する。内定を勝ち取るために皆同じ真っ黒のスーツを身にまといよそ行き顔で面接に臨む。精一杯生きている者が「タサい」「イタイ」などと言って中傷する者もいる。主人公に共感し安心する反面、心を見抜かれる感じもした。何もせず観察者でいるより、自分らしく

生きることの大切さを教えてくれた本です。

窪田 静子 英語科

英語の歴史から考える英文法の「なぜ」

朝尾幸次郎/著 大修館書店



- English の語源は何?
- man の複数形が なぜ men?
- なぜ I は大文字で書くの?
- am/are/was/were の原形が be なのはなぜ?
- night や flight の gh はなぜ発音しないの?
- 名詞の複数形に使う a few に a が現れるのはなぜ?
- 疑問文で do/does/did を使うのはなぜ?
- 現在完了形に have を使うのはなぜ?
- 進行形はなぜ be + ing?

この本を読んだからといって英語を話せるわけでもなく英語の文法が一通りわかるわけでもありません。しかし、中学生の時「なぜ」と思ったことが少しすっきりします。

樫木 秀樹 電気科

はたらく細胞 はたらく細菌 など

清水 茜/著 講談社



理科教員としてのお勧め本は「はたらく細胞」シリーズです。人間の体内にある細胞を擬人化した作品で、小説もありますが、漫画やアニメ化されています。それぞれの細胞の特徴がとてもわかりやすく表現されているので、生物基礎の「体内環境」の範囲の学習に最適です。赤血球や免疫に関する細胞が、いかにウイルスや細菌などの病原体と戦い、恒常性を成立させているかを知り、健康維持に努めて欲しいと思います。

松浦 忍 理科

かみさまは小学5年生

すみれ/著 サンマーク出版



著者であるすみれちゃんは『生まれたときから、かみさまや見えないけれどひとりひとりを見守ってくれている存在とお話ができる小学5年生の女の子』だそうです。中には不思議な話もありますが、誰もが皆、自分の人生を幸せに楽しく生きるために生まれてきたこと、辛く苦しい経験も自分の人生には必要であることを教えてくれます。私たちより幼いすみれちゃんが書いた言葉ですが、何か大切なことに気づかされるかもしれません。

山本 真希 英語科

ころべば いいのに

ヨシタケ シンスケ/著 ブロンズ新社



「イヤな気持ちって、自分じゃどうしようもない。そんなときはね・・・!」あなたは、自分が落ち込んだり、前向きになれない時、どうしていますか。主人公の女の子は、学校を出てから家に帰るまでの間に、いろいろ考えてみます。クスッと笑ってしまいながらも、そうそう、そうよねえ!と、いつの間にか元気がじわじわ湧いてくることに気がきます。どんな自分も、大切な自分。一步を踏み出すきっかけになりますように。

堀田 百恵 国語科

第 65回 青少年読書感想文阪神支部コンクール学校代表作品

「ひとりじゃないこと」 阪神支部コンクール自由読書部門 『佳作』入選 書名「かがみの孤城」 2年1組 西垣内さくら

「闘わなくても、いいんだよ」

学校で自分の居場所を見つけられず、息苦しさや生きづらさを感じている。そんな人たちを肯定し、寄り添ってくれたのは、『かがみの孤城』でした。

この本の登場人物は、こころ、アキ、マサムネ、スバル、フウカ、ウレシノ、リオンの七人で、みんな同じ中学生。主人公である一年生のこころは、ある出来事を機に学校へ行けなくなり、いつも家で過ごしている。ある日、一人で部屋にいと、部屋にある鏡が突然輝きはじめ、潜り抜けてみるとそこには、童話に出てくるような西洋風のお城と、こころと似たような境遇に置かれている中学生たち、そして、狼の面を被った謎の少女“オオカミ様”がいた。9時から17時までの滞在が許されるその城で、彼らにはひとつの課題が出される。「城の中で鍵を見つければ、見つけた者の願いを何でもひとつ与えてあげる」と。猶予は一年。戸惑いながらも、七人は少しずつ心を通い合わせていく。

鏡の向こうのお城という、ファンタジーがベースとなりますが、登場人物たちがそれぞれ抱えている問題はとても現実的でした。人間関係、家庭環境、親への遠慮や心の葛藤など、不登校の理由は様々だけれど、揺れ動く思春期の心と未熟さゆえに分かり合えない頑なさ、常識から語る大人との隔たり、細やかな心理描写は、私自身も感じていた何とも言えない心苦しきや生きづらさを言葉に起こしてもらったようで、自分と同じだ、と痛いほど共感しました。そして、子どもとの関わり方が分からなくなり、娘のことを理解しようと手探りする、こころのお母さんの戸惑いや怒りや喜びが、こころの目を通して伝わり、子どもが大人に望むことはもちろん、大人が子どもに対して思うことを丁寧に表現しているところは、大人が読んでも共感できる部分が多いと思います。今はまだ、親の気持ちを完全に理解することはできないけれど、「お母さん、何も気づかなかった。ごめんね」とお母さんがこころに対して言ったように、自分が当たり前だと思っていることを押しつけるのではなく、子どもの言葉にできない思いに気がつき、寄り添ってあげることが大事なんだと思いました。つらい時に必要なのはきっと、そばにいてくれる誰かなんだと思います。こころたち七人が最初は戸惑いながらも城での生活を送っていくなかで、徐々に信頼関係を築き、最終的には

お互いに助け合う。そんな居場所や仲間を見つけたことは、一人一人の力になったはずですが。城の外ではつらい現実が待っているはずなのに、それでもみんなは大丈夫だと思わせてくれるような、希望や明るい未来が感じられました。どんなに苦しくて塞がれた状況でも、必ず自分のことを受け入れて理解し、救ってくれる存在が身近にあることを気づかされたような気がします。だから諦めないで生きてほしいというメッセージを作者は伝えたかったのかなと思います。

一つ一つの出会いはきっと私たちの助けになります。もう生きていたくない、と城に閉じこもっていたところを、こころに救われたアキが、時を超えて、今度はこころを救うように、この本を読んだ人が、どこかでうづむいている誰かを救う側になれば、それはとても素敵なことだと思います。願いの鍵を使ったことで、城での記憶は失われてしまったけれど、「私の手を引っ張って、この世界に戻してくれた子たちがいる。私をここに繋ぎとめ、大人にしてくれた子たちがいる。今度は私がその子たちの腕を引く側になりたい」と大人になったアキを見てると、救われた側が救う側になった時、人は本当に救われるんだなと実感しました。

いじめや不登校のニュースは絶えません。テレビで、勇気を出していじめを訴えたのにも関わらず、学校側は対応してくれないどころか、「この人数で駄目ならこの先社会でやっていけないぞ」と説教されている人がいることを知り、心が痛くなりました。ささいな言葉、行動ひとつで精神的に不安定になってしまいがちな時期に、なぜそんなに強く突き離すのだろうか、なぜそんなに追い詰めるのだろうか、まだまだ未熟な子どもたちを、少しでも良い方向へと導いてあげるのか一人の大人としての義務なのではないかと思ってしまう。一人一人抱える事情は違えど、その事情に寄り添い一緒に闘ってくれる人が、「学校」と「家」という二つの狭いコミュニティしか知らない私たちに、「世界はここだけじゃないよ」と視野を広げてくれ、居場所を与えてくれるような人がいれば、どれだけ心強いだろうと思います。今生きづらさを感じている人に手を差し伸べてくれる人が現れることを願います。そして、そんな人に私もなれるよう、強く生きて大人になろうと思います。

第 65回 青少年読書感想文阪神支部コンクール学校代表作品

「『この川にむこうに君がいる』を読んで」 課題読書部門

書名「この川のむこうに君がいる」 1年7組 竹内 陽菜多

私がこの本を選んだ理由は、自分と同じ高校一年生の女子が主人公で東日本大震災から三年後の物語であるということです。大震災当時主人公の梨乃は小学六年生でしたが、私は小学一年生で、大震災の記憶はほとんどありません。連日テレビや新聞などで報道されていたと思うのですが、おそらく自分にはあまり関係ないこととして捉えていたのだらうと思います。しかし、成長するにつれ東日本大震災がいかに恐ろしい出来事だったのかわかってきてもっと知りたくなりました。知らなくてはいけないとも思いました。

主人公の梨乃は大震災の後、埼玉県に家族で引っ越してきましたが、そこでは被災者ということでみんなから気遣われ、特別な存在として扱われました。それが嫌だったので中学卒業後は自分のことを誰も知らない東京の高校へ進学しました。知っている人が誰もいない学校へ行くのはとても勇気がいることです。彼女の被災者扱いされたくない、同情されたくないという気持ちが伝わってきました。被災した人にしかわからない苦勞がたくさんあるのだということがよくわかりました。私もこれまでは東日本大震災の被災者はみんなひとくくりで見えていましたが、物語を読んで津波によって被害を受けた人、原発事故によって故郷を離れなければならない人、それぞれの事情は違っていることを改めて知りました。善意で被災者には優しくしようと思う人も大勢いると思いますが、悪意はなくても人を傷つけてしまうこともあるということを知り、考えさせられました。

梨乃は私と似ている所があります。転校先の中学校でも、高校に入っても積極的に話しかけてくる人が苦手だったり、気後れしてしまったりするところ。相手に悪意はなくてもネガティブに受け取ってしまうのです。ただ梨乃は大震災を経験したことで、もしかしたら性格が変わってしまったのかもしれない。ネガティブに受け取ってしまう言葉も大震災を経験しなければ素直に受け取れていたのではないかと思います。

一方で、梨乃は行動力があって強い一面もあります。中学校に入学したら吹奏楽部に入ろうと思っていたのに、大震災でそれどころではなくなり、入部できませんでした。高校生になって、未経験ながら吹奏楽部に入学するのですが、吹奏楽部といえばほとんどが経験者なので、つ

いていくのも大変だし、とても勇気がいることだと思います。それでもやりたい事にチャレンジするのはとても素晴らしいことだと思います。

練習も人一倍しなくてははいけないので努力も必要ですし、それに負けない強い意志も必要です。そこを乗り越え、吹奏楽部員として大会に出られるまでに上達できた梨乃に、本当に感動しました。やればできないことはないのだということを梨乃は証明してみせたのです。そんな梨乃の姿をみて、私も何かに打ちこみたいと思いました。

東日本大震災から今年で八年がたち、その間にも熊本地震や、北海道胆振東部地震、身近な所では、大阪北部地震など、多くの災害が起きました。大阪北部地震は私が初めて直接経験した地震です。ガタガタと揺れて、地面がフワフワしてとても恐かったです。東日本大震災の揺れを想像するだけで恐ろしいですし、さらに津波となればなおさらです。梨乃が震災の起きた時刻に急に津波のことを思い出してめまいを起こしたり、梨乃のお母さんは毎月11日になると体調を崩してしまったりするところから、心の傷は何年たっても癒えることはないのだと強く実感しました。PTSDと診断される人が多くなりましたがいくらケアしてもらってもそういう心の病はなかなか治すことはできないと思います。物語の中でも、徐々にお母さんは元気を取り戻していているので時間が経たなくても心の傷が少しでも癒えることを切に願います。

この本を読んでではじめてわかったことがあります。それは、東日本大震災の被災者だけでなく、多くの災害の被災者すべてに言えることは、被災者はそれぞれ被害も事情も違うということ、同じ一つの災害の被災者であってもひとくくりには考えてはいけないということです。あまりに被災者扱いすることも被災者を傷つけてしまっていたり、善意をもってした行動も迷惑だったり、どうしたらいいのか答えのない問題だと思います。ただ忘れてはいけない、風化させてはいけないことは確かだと思います。今も苦しんでいる人がいるということは私も忘れないでいこうと思います。

最後に、被災しても前を向いて生きている人達にエールを送りたい。そして自分も前向きに生きていこうと思います。

「常に相手のことを考える“お役立ち”」 自由読書部門

書名「キリの理容室」

1年1組 中橋 愛奈

「理容室」と「美容室」、あなたは普段どちらに通いますか？ 男の人の多くは「理容室」女の人には「美容室」と答えるかもしれません。私も、『キリの理容室』という本を読むまで、そのように思っていたし、まず理容室と美容室の違いがはっきりわかっていませんでした。若い人や女の人が通うのは「美容室」で、おじさんや年配の男の人が通うのは「理容室」、そんなざっくりとしたイメージしか持っていませんでした。そんな私のイメージをがらっと変えてくれたのが、この本です。

まず、この本を読んだきっかけは、学校でもらう「図書館だより」に、夏休みの本・選定図書として載っており、あらすじを読んで興味を持ったからです。実際に図書館に足を運んだ際、この本を見つけ、やはり読んでみたいと思いました。

この本の主人公、キリは、小さい頃からずっと目指してきた夢をやっと実現させた新人理容師です。理容師は美容師に比べて人気がなく、衰退産業と言われている職業だそうです。そんな中で、強い意志を持って、夢をつかむために、そしてつかんだ後もがんばり続けているキリにとっても惹かれました。

その中でも、私がとても印象に残ったところがあります。それは、シェービングつまりお顔剃りは左手でもできて一倍感上手なのに、カットはとても下手なキリが、優しいお客さんや、ベテラン理容師のアドバイスのおかげでだんだん技術だけでなく人としても成長していくところです。キリは初め、自分がカットが上手になりたいという一心でした。お客さんに言われた通りの髪型にしてはいたものの、その人に似合うように、満足してもらえるように切ってはいませんでした。例えば、角刈りは角刈りでもお客さまそれぞれの“似合い感”を考慮した角刈りにはしていなかったのです。私はこの一連の

流れを読んでいて、この間、学校で行われた、「町の社長さん講演会」で聞いたことととても似ていると感じました。その社長さんが、自分の会社の従業員に働く理由を聞いてみた時、従業員の答えは、だいたい三パターンに分かれていたそうです。収入を得るため、自分が上達するため、お客さんを幸せにするため、この三つです。私の働く理由を考えてみると、この三つ全て含まれますが、一番大きな理由になるのは、収入を得るためではないかと正直思いました。と同

時に、収入を得るためだけに働く大人にはなりたくないと感じました。その社長さんは、収入目当ての仕事はただの作業、上達目当ての仕事は、自己満足だと自分は思っていると言われました。しかし、お客さんの幸せのための仕事は、「お役立ち」だそうです。この社長さんと、本の中のキリ、職種は違いますが、お客さまのことを考えて仕事をすると、社長さんの会社もキリもお客さまに好かれ、お客さんの満足度もアップし、仕事の技術もアップしていました。

このことから私は、どんなことにも相手を幸せにするためという利他的な動機で行いたいという気持ちをさらに持つことができました。つい、自己中心的な視点で考えてしまうこともあります。そのような動機で行うことは、自分にとってもお客さまなど相手にとっても、プラスにならないと思います。

次に私が感動したところは、卷子、つまりキリの母が乳がんで亡くなる直前に、キリに書いた手紙です。それをキリが受け取ったのは、卷子が亡くなってしばらくしてからのことでした。私は、初めこの本を読んだとき、卷子はなんてひどい、自分勝手な母親だと、卷子に対して怒りの気持ちがありました。でも、卷子からキリへの手紙を読んで、卷子は、本当は今でもキリや元夫の誠を愛していること、自分がしてしまったことを後悔していること、卷子も昔、両親に捨てられていたことが分かりました。このことを知ったとき私は、他の人を、今分かっていること、自分が知っている情報だけで、決めつけてはいけなくて改めて感じました。人間は、つい、見えることだけで周りの人を判断してしまいがちですが、その人の本当の気持ちや子どもの頃の環境、背景などを知るよう努力することで、その人への接し方が変わるのではないかと思います。

この本を読んだことで、理容室についてよく知ることができました。また、それだけでなく、自分の見聞きしたことと重ね合わせて、これから人として成長していきたいと思っています。そして、どんな人と接する時にも、偏見を持った見方をするのではなく、その人をよく知るよう心がけていきたいと思いました。

最後に、読書感想文がきっかけとなって、ステキな本と出会うことができたので、これからも積極的に読書をしたいと思っています。

生徒からのおすすめ本

キャッチャー・インザ・ライ

J・Dサリンジャー/著 村上春樹/訳 白水社

16歳の少年ホールデンが、学校を退学になってから家に帰るまでの記録。同世代の主人公の、まるで友人に語りかけるかのような口調には、時々この世をとめて的確にとらえているのではないかとドキッとさせられて、どのシーンも印象的な本です。心に残ったところは、弟のアリーに語りかけるところです。アニーは神童でありながら、幼くして亡くなってしまいます。彼は野球のグローブに詩をみっちりかきこんでいるという常人ばなれした面もありますが、主人公は時々「遊びの仲間に入れてあげる」と彼に語りかけています。そこを読んだあと自分の気持ちと向き合ってみてください。

この本は映画「天気の子」の中で、主人公が上京する時に持ってきている本です。この本が彼の劇中では語られていない過去を暗示しているに違いないと思います。「天気の子」のファンの方にはぜひ読んでほしいです。

多くの人に影響を与えているサリンジャー文学。これが面白ければ、他の作品群にもふれてみてほしいです。

きっと新しい世界観をくれると思います。(1年 細川 朋笑)

カラフル

森 絵都/著 文藝春秋

生前の罪により、輪廻のサイクルから外された僕の魂。だが天使業界の抽選に当たり、再挑戦のチャンスを得た。自殺を図った少年・真の体にホームステイし、自分の罪を思い出さなければならないのだ。真として過ごすうち、僕は人の欠点や美点が見えてくるようになるのだが・・・。

この小説は「自殺、いじめ、家庭問題、恋愛」など青春時代に一度は味わうであろう問題を取り上げている作品。

この小説を通して、これらの問題をいかに客観視して自分の世界に応用していくかが重要なポイントになってくる。

この作品では、様々な人物が登場し、それぞれ様々な問題を抱えている人物として描かれている。夢、欲望、希望、愛情、嫉妬、様々な感情が入り乱れるこの状態こそが「カラフル」であると考えている。

「自分は様々な色を秘めていると自覚すること。そして、この世界も様々な色で渦巻いている。世界も「カラフル」であるということ。」人生は一色単に決まるものではない。自分が何者であるか？など誰にも分らないと、この作品は伝えている。(1年 國生 涼平)

青空エール

下川 香苗/著 集英社

野球部の応援をする吹奏楽部員に憧れ、吹奏楽の名門、白翔高校に入学した、小野つばさ。入学の日、野球部の大介と交わしたひとつの約束と、彼への恋心を支えにきつい練習をがんばってきた。しかし、吹奏楽部も野球部も全国の壁は高く、ふたりの約束は果たされないまま。そして約束は、最後の夏に託される。

「ずっと自分の靴ばかり見てた。だけど君が信じてくれたから上を見れた。見上げれば空は青かった。」

一言で言うなら、すごく元気をもらえる、誰かを応援したくなる、そんな物語です。気弱で引っ込み思案な主人公つばさが、腱鞘炎になった部活の先輩のためや、ケガをした大介のために何とかしようと一生懸命になるつばさの行動が好きです。

最後の北海道大会決勝戦なんと、もうたまりません！

ぜひ 読んでください。(1年 福永 彩奈)

ONE PIECE

尾田栄一郎/著 集英社

ある日、赤髪海賊団が盗人から奪い取った悪魔の実「ゴムゴムの実」を誤ってルフィが食べてしまいゴム人間になってしまった。ルフィは海で泳げないというショックが最初は大きかったが、そのゴム人間の能力を生かし、海賊王を目指す。

頂上戦争にて赤犬が白ひげを侮辱。それに対し、エースが激怒。赤犬と戦うがマグマVS火 圧倒的不利で防戦一方、すきをつかれルフィが殺されそうになり、それをエースが身を投げ出し守る。心臓をつらぬかれエースは仲間たちへ・・・

「愛してくれて、ありがとう」
2年後、シャボンディ諸島で再会するまでの話が、自分としては好きです。特にサンジ、チョッパーが仲間になる時、メリー号との別れは何回見ても泣けます。あとラブーンも泣けます。ルフィが「お前の作る飯以外くわねえ！」とサンジに向かって叫びサンジがルフィをけり飛ばすシーンも泣けます。とにかく各シーン名せりふがとでも多い最高の漫画です。(1年 山本 禅)

名作の「最初」の言葉

文章の最初の言葉は物語の幕を上げる重要な存在。そこに作者はどんなの思いを込めたのだろうか。

メロスは激怒した。 『走れメロス』 太宰治

大いなる愛の心で、自分を見つけた。 『人間失格』 太宰治

山路を登りながら、こう考えた。 智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。 『草枕』 夏目漱石

春はあけぼの。 やうやう白くなりゆく、山ぎはすこしあかりて、むらさきだちたる雲のほそくたなびきたる。 『枕草子』 清少納言

ある日のことでございます。お釈迦様は極楽の蓮池のふちを、ひとりふらふらお歩きなっていました。 『蜘蛛の糸』 芥川龍之介

国境の長いトンネルを抜けると雪国であつた。夜の底が白くなった。信号所に汽車が止まった。 『雪国』 川端康成

そのころ、東京中の町という町、家という家では、ふたりの以上の人があわ寄せさえすれば、まるでお天気の良いさつでもするようになつて、怪人二十面相のうわさをしていました。 『怪人二十面相』 江戸川乱歩

ある朝、グレゴール・ザムザが気がかりな夢から目覚めたとき、自分がベッドの上で一匹の巨大な毒虫に変わつてしまつていたのに気がついた。彼は甲殻のように固い背骨を下にして横たわり、頭を少し上げると、何本もの弓形のすじに分かれてこんもりと盛り上がつて自分の自分の茶色の腹が見えた。 『変身』 カフカ

さいとう市立さいとう高校野球部

あさのあつこ/著 講談社

主人公は温泉好きで中学時代には野球部に所属していた山田勇作であるが、帰宅部である。そして勇作の前にユニホームが似合わない野球部監督・鈴ちゃんこと鈴木先生が現れる。鈴木先生は野球をやったことがないが、強くなる方法は知っている。勇作は野球部にお試し入部をする。

勇作の幼馴染である山本一良が勇作に言った「勇作、さいとう高校でもバッテリー組もうぜ」というフレーズが印象的でした。

最初から最後までとても読みやすかったです。主人公が高校生ということもあり、共感する部分がありました。野球をやったことがない野球部員であった鈴木監督の独特な練習や生徒とのコミュニケーションの取り方にも注目です。また、さいとう高校野球部部員もとても個性的なので、そこも見所です。その他にも見所がたくさんありますので、ぜひ読んでください。(2年 小山 翔太)

君の臍臓を食べたい

住野よる/著 双葉社

「僕」はある日の病院で文庫本を見つける。「共病文庫」という題名のその本には、臍臓の病気により余命わずかであるという家族以外の誰にも話していない重大な秘密が書かれていた。そして、その本の持ち主がクラスメイトの山内桜良であるとわかり――。

「一日の価値は全部一緒なんだから、何をしたかの差なんかで私の今日の価値は変わらない。」

「目標ができるというのは人間を輝かせる」

「君は、きっとただ一人、私に真実と日常を与えてくれる人なんじゃないか。」

生きるということについて考えさせられる本でした。この本を読み進めていく中で、臍臓の病気であり余命わずかであるといわれていた山内桜良だけでなく、人は皆、人生という限られた時間の中で生きているのだということに改めて気づかされ、毎日を大切に過ごしていきたいと思いました。「君の臍臓を食べたい」は、映画化されたり、コミックもあります。最後まで読んでみると、予想外の結末が……。ぜひ読んでみてください。(2年 青木 陽香)

ソードアート・オンライン

川原 礫/著 KADOKAWA

突如、「ゲーム内の死=現実の死」というデスゲームと化したVRMMO「ソードアート・オンライン」。脱出方法は全百層の完全クリアのみ。それに巻き込まれた約万人のプレイヤー。そんな中、主人公・キリトはさまざまな出会いや別れを乗り越え、ゲームクリアを目指す。

「わたしは死なないよ。だって、わたしは君を守るほうだもん」「俺の命は君のものだ、アスナ。だから、君のために使う。最後の瞬間まで、一緒にいる。」

74層のボス攻略でエクストラスキル『二刀流』を使うシーンや、アスナを守るために二人を殺してしまったシーンが好きです。また、キリトとアスナの会話もとても好きです。この話は、出会いや別れなど人間関係において感動できるシーンが多い作品です。キャラクターの一人一人の悩みや苦痛に対してもしっかりと描かれているため、とてもいい本です。(2年 深見 宙翔)

歴史に残る悪女になるぞ

大木戸いずみ/著 KADOKAWA

乙女ゲームの悪役令嬢に転生した少女が、志を高くもって、綺麗ごとが大嫌い、何事にも筋を通して、思慮深く、どんな時も冷静な判断を下せる強い悪女になるために努力する物語。

「努力を続けて何かを得られるとしたら、それは結果じゃなく自信よ」これは悪役令嬢に転生した少女が乙女ゲームのヒロインに向けて言う言葉です。悪女になるために、聖女であるヒロインに並ぶために努力し続けてきた彼女の強い想いを感じました。

主人公の努力する姿を読むことで、自分も頑張ろうと思えるかもしれません。(2年 三原 柚希乃)

名作の「最後」の言葉

物語を締めくくる最後の言葉は、読者に作品の余韻を与えるという大切な役割を担う。物語のラストを彩る名文。

すぐに、ぼくあてに手紙を書いてください。
『星の王子さま』サン＝テグジュペリ

哀れな物語は多いけれども、このロミオとジュリエットの恋物語にまさるものはない。
『ロミオとジュリエット』シェイクスピア

道を上った所にある小屋で、老人は再び眠っていた。うつ伏せのまま。少年が側に座り、彼を見守っている。老人はライオンの夢を見ていた。
『老人と海』ヘミングウェイ

君よ、春が来るのだ。冬の後には春が来るのだ。君の上にも確かに、正しく、力強く、永久の春がほほえむように。僕はただそう心から祈る。
『生まれ出づる悩み』有島武郎

ああ、相沢謙吉のように良き友は世に再び得がたいものである。だが私の脳裏に、一点の彼を憎む心が今日まで残っているのだった。
『舞姫』森鴉外

次第にふけてゆくおぼろ夜に、沈黙の人二人を載せた高瀬舟は、黒い水の面をすべって行った。
『高瀬舟』森鴉外

虎は、既に白く光を失った月を仰いで、二声三声咆哮したかと思うと、又、元の草むらに踊り入って、再びその姿を見なかった。
『山月記』中島敦

自分はことし、二十七になります。白髪がめっきりふえたので、たいていの人から、四十以上に見られます。
『人間失格』太宰治

勇者は、ひどく赤面した。『走れメロス』太宰治

新選組血風録

司馬遼太郎/著 角川文庫

維新前の京洛に治安維持を任務として組織された新選組。騒乱の世をそれぞれの夢と野心を抱いて白刃とともに生きた男たちを描く短編集。

「則宗は七百年ですよ」・病気でもう長くないことを悟った沖田は自分が所持している刀（則宗）は七百年の間 折れずに生きており、自分が死んでからも変わらないと感慨に浸る。

有名どころの沖田や土方だけでなく、あまり目立たない隊士が主人公として焦点があてられていて、大きな事件ばかりではなく日常を垣間見られるようで面白かったです。

(3年 下川 莉奈)

ちはやぶる

末次由紀/著 講談社

小6の千早が出会ったのは福井からやってきた転校生・新。彼は無口だが小倉百人一首という特技があった。千早は誰よりも速く札をとる新に衝撃をうける。

しかし、千早にはずば抜けた「才能」があった。

心に残った言葉は、

「自分じゃなくりたい。でも、自分になりたい」

私はこの漫画をアニメで知ったのですが、とにかく熱い。小4の青春でした。最初は興味も湧かないと面白くないかもしれないけれど読んでみてください。ハマります。かるたも絶対好きになります。

(3年 猪上 真希)

緋色の研究

コナン・ドイル/著 新潮文庫

文学の知識一皆無、哲学の知識一皆無。毒物に詳しく、古今の犯罪を熟知し、ヴァイオリンを巧み奏でる特異な人物シャーロック・ホームズが初めて世に出た、探偵小説の記念碑的作品。ワトソンとホームズの出会いから、空家で発見された外傷のないアメリカ人の死体、そして第2の死体の発見・・・ホームズの超人間的な推理力が発揮される。

「千の犯罪を詳しく知っていれば、千一番目のものが解決できなかったら不思議なくらいなものだ。」あらゆる事件を知り尽くし、その中に隠れた極めて強力な類似性を見つけ出し、事件を解決していくホームズの様には脱帽の一言。

シャーロック・ホームズ シリーズは推理小説としてはおそらく最もメジャーだと考えていましたが、読み慣れるまでは苦勞しました。ホームズとワトソンの絡みも最高でしたが、ホームズの推理を披露する場面の堂々とした姿勢や王道的な展開がとてまかつよく魅力的でした。推理小説が好きな人はもちろん、読んだことが無い人も是非図書館に借りに来てください。(3年 板谷 魁士)

傘をもたない蟻たちは

加藤シゲアキ/著 角川書店

今を生きる人々の「生」と「性」を浮き彫りにする6編の物語。「うまいイガヌを食べて、その虜になり、かつて好きだった料理も忘れ、全部の食卓の記憶がイガヌで上塗りされてしまうことを怖れているのだ。」という文が心に残っています。あまり小説を読まない人でも短編小説なので読みやすいです。個人的には「イガヌの雨」が面白かったです。(3年 日渡 鈴葉)



名作の中の名言

名作には、人生の指針となる言葉が登場します



あいつは奴隷なんかじゃない。
あいつは自由だ。
この地上を歩いてる
どんな生き物よりも自由なんだ！
— 『ハックルベリー・フィンの冒険』マーク・トウェイン

ひょっとしたら長らえる生命よりも、
闘い続ける意志の方が人には大事なんじゃないだろうか。
— 『さよならドビュッシー』中山七里

人間の尊さは、
自分を苦しめるところにあるのさ。
満足は誰でも好むよ。けどものでもね。
— 『風と光と二十の私と』坂口安吾

ものごとはね、
心で見なくてはよく見えない。
いちばん見たいせつなことは
目には見えない。
— 『星の王子さま』サン＝テグジュペリ

どんな人間も、正しい判断するには、
初めは自分で近くから判断しなくてはならない。
— 『罪と罰』ドストエフスキー

人間は、どんなことにも慣れてしまうものだ。
— 『異邦人』カミュ

僕はあぶない崖っぷちに立っているんだ。
そこで遊んでいる子どもたちが、転がり落ちそう
になったら、その子をつかまえるんだ。
ライ麦畑のつかまえ役、
そういっただけなのに僕はなりたいたんだ。
— 『ライ麦畑でつかまえて』J・Dサリンジャー

人は陸の上だけが世界だと思っていますが、
海の中もまた一つの世界なのです。陸の上の法律
が及ばない、平和な世界です。
ここには、人々をおさえつける政府や権力者は
いません。誰でものびのびと平等に自由な生活
ができるのです。
— 『海底二万マイル』ジュール・ヴェルヌ

こんなに美しいときが、
なぜこんなに短いのだろう
— 『檸檬』冬の日 梶井基次郎

しかし君、恋は罪悪ですよ。
解っていますか。
— 『ころ』夏目漱石

失敗は人の常だが、
失敗を悟って 挽回できる者が
偉大なのだ。
— 『シャーロック・ホームズ 最後の挨拶』
コナン・ドイル

どんなことでも それが本当であろうと嘘で
であろう 言わせることはできるわ。
でも信じさせることはできない。
人の心の中にまで 入り込めはしないのよ。
— 『1984年』ジョージ・オーウェル

図書館利用の統計

	開館日数	利用者数	総貸出冊数	リクエスト	パソコン利用
4月	13日	778人	212冊	12件	3件
5月	19日	428人	215冊	9件	3件
6月	18日	624人	197冊	7件	4件
7月	14日	420人	340冊	11件	6件
8月	8日	144人	58冊	5件	3件
9月	19日	622人	273冊	13件	8件
10月	19日	563人	239冊	11件	7件
11月	19日	648人	381冊	12件	5件
12月	17日	288人	273冊	11件	5件
合計	148日	4515人	2188冊	91件	44件

学年別貸出統計

	1年生	2年生	3年生	
4月	85冊	53冊	32冊	170冊
5月	56冊	71冊	35冊	162冊
6月	50冊	53冊	50冊	153冊
7月	98冊	104冊	43冊	245冊
8月	5冊	15冊	9冊	29冊
9月	71冊	81冊	81冊	233冊
10月	51冊	51冊	66冊	168冊
11月	119冊	75冊	110冊	304冊
12月	64冊	57冊	67冊	188冊
合計	599冊	560冊	493冊	1652冊

※漫画本は貸出していません。

【授業での利用】 **6月** 家庭科4回 **9月** 美術1回

11月 保健1回 国語1回 地歴1回 LHR 1回 **12月** 商業1回

・各考査前、考査中での自主学習利用がありました。 ・学校説明会・幼稚園児の見学

図書委員会 活動報告

三役（委員長、副委員長、書記）と1年生の代表者

- ・委員会のまとめ・企画
- ・図書館報『aftó』の発行

- 2019年 4月 図書委員会（第1回） 三役選出、1年生代表選出、当番決定
今年度の目標決定 「NO BOOK、NO LIFE」
「月1冊 新しい本に出会って“自分の一冊”を見つけよう！」
「めざせ！図書館 年間利用5000人！」
- 5月 放課後の当番開始
三役と1年生代表会 プレゼント企画第1弾・雑誌の付録プレゼント募集
1年生の図書委員会 各クラスで「図書館ガイド」の説明
- 6月 三役と1年生代表会 プレゼントの抽選会・当選者発表
- 7月 三役と1年生代表会 1学期を振り返る
- 9月 図書委員会（第2回） 体育祭の役割分担決め、当番決め
三役と1年生代表会 ・図書館報『aftó』の原稿内容決定・役割分担・依頼
- 10月 三役と1年生代表会 ・図書館報『aftó』の原稿回収
・読書週間企画「読書でビンゴ！」 実施
・オリジナルブックカバー 作成
- 11月 三役と1年生代表会 ・プレゼント企画第2弾の打ち合わせ、準備
- 12月 三役と1年生代表会 ・プレゼント企画第2弾・雑誌、付録のプレゼント実施
・「本の福袋」企画 特別貸出
・図書館報『aftó』の校正、編集
- 2020年 1月 図書館報『aftó』の発行